

Ethernet Adapter

PCIバス10/100Mbpsイーサネットアダプタ

■ LD-10/100AN 10BASE **T** 100BASE **TX**

User's Manual

必ず お読みください。		
使用になる環境に 合わせて必要な ソフトウェアを お読みください。	PC/AT互換機 NEC PC9801NX を要する	Windows95 が必要
		WindowsNT4.0 が必要
	必要に応じて お読みください。	

PCIバス10/100Mbpsイーサネットアダプタ

LD-10/100AN

User's Manual

ユーザーズマニュアル

ご注意

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートは行っておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

■ ■ はじめに ■ ■

このたびは、弊社ラニードイーサネットアダプタ"LD-10/100AN"をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルには、LD-10/100ANをコンピュータ本体に導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客様が安全にLD-10/100ANを扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業を行い、製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注 意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警 告



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体と周辺機器の電源を切り、電源プラグをACコンセントから抜いてから行ってください。
電源プラグを抜かずに作業をすると火災や感電、故障の原因になります。



小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業を行わないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。
けがや感電、部品を飲み込んだりする危険性があります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。



本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品を取り付けたコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注 意



コンピュータ本体のカバーや本製品の取り付け、取りはずしのときは慎重に作業を行ってください。
強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、本製品に触れる前に金属性のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業を行ってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間、本製品を取り付けたコンピュータ本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。

本製品は第一種情報装置(商工業地域で使用される情報装置)で、商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)に適合しています。したがって、住宅地またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受像機等に受信障害を与えることがあります。このマニュアルの説明にしたがって正しくお取り扱いください。

もくじ

はじめに	
安全にお使いいただくために	2
もくじ	4
このマニュアルの読みかた	5
1. パッケージの内容を確認する	6
2. 製品の保証とユーザ登録	7
製品の保証とサービス	7
ユーザ登録について	8
3. 本製品の概要について	9
本製品の特長	9
動作環境について	10
4. 各部の名称とはたらき	11
5. 本製品の導入手順	12
6. PC/AT互換機 NEC PC98-NXをWindows95で使うとき	13
Netpci.infファイルのリネーム(取り付けの前に)	13
7. コンピュータ本体に取り付ける	17
8. Windows95でのセットアップ	19
Windows95でのセットアップ	19
ピア・ツー・ピアの設定例	25
9. WindowsNT4.0でのセットアップ	30
10. その他のOSへのドライバのインストール	36
11. アダプタのプロパティについて	38
Windows95の場合	38
WindowsNT4.0の場合	40
12. 診断プログラムによるチェック	41
付録1. Windows95でDECドライバがインストールされたとき	46
付録2. こんなときは	48
サポートサービスについて	54
基本仕様	56

このマニュアルの読みかた

このマニュアルの読みかた

このマニュアルは、次の4つの大きな構成に分かれています。

■必ず読んでいただきたいところ。⇒ 6～12、17、18ページ

■PC/AT互換機、NEC PC98-NXをお使いの方に
必ず読んでいただきたいところ。⇒ 13～16ページ

■Windows95で使用する方に読んでいただきたいところ。⇒ 19～29ページ

■WindowsNT4.0で使用する方に読んでいただきたいところ。⇒ 30～37ページ

■必要に応じて読んでいただきたいところ。⇒ 38～56ページ

(その他のOSでのドライバのインストール方法や必要に応じて使用する機能、トラブルが発生したときの対応などを説明しています)

このマニュアルの12ページに、本製品を導入する手順フローがあります。
参考にしてください。

このマニュアルの表記について

●用語について

本製品・・・LD-10/100ANのことを、このマニュアルでは、「本製品」と記載しています。

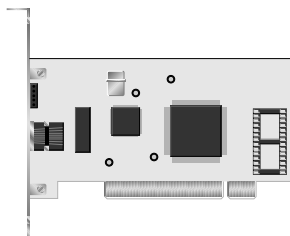
●記号について

記 号	意 味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
↑ ↓	キーボード上のカーソルキーを表わします。
Enter	キーボード上のEnterキーを表わします。
スペース	キーボード上のスペースバーを表わします。
Esc A	その他、キーボード上のキーを表わします。

パッケージの内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店か弊社ラード・サポートセンターまでご連絡ください。

●イーサネットアダプタ LD-10/100AN 1枚



●ドライバディスク (3.5インチフロッピーディスク PC/AT(DOS/V)用 1枚 NEC PC-9800シリーズ用 1枚)



●ユーザーズマニュアル (このマニュアルです)



●ユーザ登録カード



●保証書



製品の保証とユーザ登録

製品の保証とサービス

本製品には、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じた、いかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

保証期間中に故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えて、下記修理センターにご依頼ください。

エレコム修理センター

〒343-0822 埼玉県越谷市西方2722-1 小山企業センター内
エレコム株式会社 エレコム修理センター
電話番号 0489-61-1687
電話受付 月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く)

ユーザ登録について

パッケージの内容が確認できたら、作業をはじめる前に、ユーザ登録カードに必要なことをご記入の上、ご投函ください。

番号を控えておきます。

品番

S/N

会社名、住所などを記入します。

※裏面のアンケートにもお答えください。
ご意見は、今後の製品開発などに役立てていきます。

本製品に関して、ご質問がある場合は、ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3981-4147 FAX : 03-3981-2102

受付時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間行っております。

●インターネット：<http://www.elecom.co.jp>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000 大阪：06-455-6000 名古屋：052-453-6000
福岡：092-482-6000 札幌：011-210-6000 仙台：022-268-6000
広島：082-223-6000

本製品の特長や動作環境などを説明します。

本製品の特長

●10Mbps、100Mbpsの混在環境でも威力を発揮

本製品は、すでにある10Mbps環境へグレードアップするのに便利な製品です。PCIバスを採用し、対応機種もPC/AT互換機とNEC PC-9800(9821)シリーズに対応しますので、機種の変更があっても将来にわたって本製品を使用することが可能です。

●Windows95のプラグ&プレイに対応

Windows95のプラグ&プレイに対応しますので、プラグ&プレイに対応した本体との組み合わせで、簡単セットアップが可能です。本製品をコンピュータ本体に取り付け、電源を入れると、必要な作業をメッセージで知らせてくれます。本製品に付属のディスクとWindows95のディスクを指示に従って挿入するだけで、リスタート後は本製品が使用可能な状態になります。

●バスマスタ機能によりCPUへの負担を軽減

データ伝送の制御をCPUに替わって、本製品自身が制御するバスマスタ機能によりCPUへの負担を軽減しました。せっかくCPUを高速化しても、新しいデバイスによって処理が増えては意味がありません。本製品ならCPUへの負担を抑えて、ネットワークの導入が計れます。また、バスマスタ機能では、CPUの処理状況に関係なくシステムバスへのアクセスが行えるため、頻繁なアクセスが可能になり、データの伝送速度も向上します。

●Auto-Negotiation対応だから10Mbps⇔100Mbps自動切り替え

Auto-Negotiation機能により、接続先の伝送速度を自動的に判断、10Mbpsか100Mbpsか適切な伝送速度を実現します。また、詳細設定によりネットワークアダプタのプロパティで、伝送速度を固定することも可能です。

●FIFOバッファを内蔵し、効率のいい処理と転送を実現

本製品はFIFOバッファを内蔵しています。FIFOバッファにより、先に入ったデータから先に処理されますので、効率のいい処理が行われ、転送速度を向上することができます。

●Full-Duplex対応で高速データ転送

Full Duplex(全二重モード)に対応。同じくFull Duplex対応のスイッチングHUBに100BASE-TXまたは10BASE-T用ケーブルで接続すると、データの送信と受信を同時に行えます。これにより、チャンネルの帯域幅が200Mbps(10BASE-Tは20Mbps)に増大され効率のよい伝送路を持ったネットワーク環境が実現できます。さらに、CSMA/CDプロトコルの特長であるコリジョンの回避により、パフォーマンスの低下を防ぎます。

●Store&Forward方式に対応

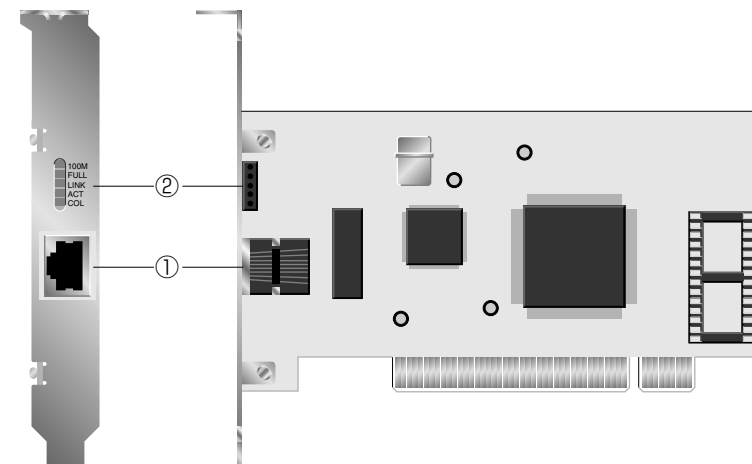
Store&Forward方式に対応したスイッチングHUBなどと接続すると、ネットワークのトラフィックを軽減し、効率的にデータの伝送を行えます。

動作環境について

本製品は次の動作環境に対応しています。

対応機種	IBM PCおよびPC/AT互換機(DOS/Vマシン)、NEC PC98-NX、NEC PC-9800(9821)シリーズで下記の条件を満たす機種(自作機は除く) ・ PCIバスの空きスロットがあること ・ IRQの空きがあること
対応OS	Windows95、WindowsNT3.51 / 4.0 NetWare3.12J / 4.10J / 4.11J、Ms-Lanmanager

本製品の各部の名称とはたらきを説明します。



①RJ45モジュージャック(10BASE-T,100BASE-TX)

10BASE-Tまたは100BASE-TX対応ケーブルのRJ45モジュラープラグを差し込みます。100BASE-TX使用時は、必ずカテゴリ5のケーブルを使用してください。

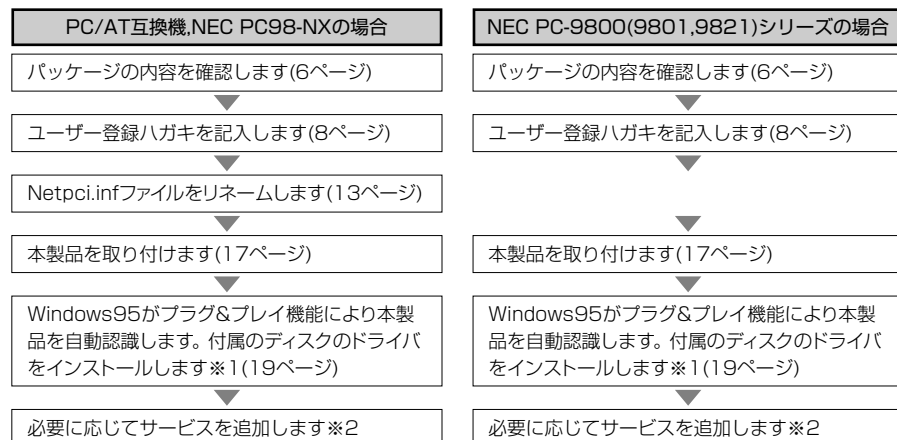
②LEDインジケータ

本製品の接続状況を知らせます。

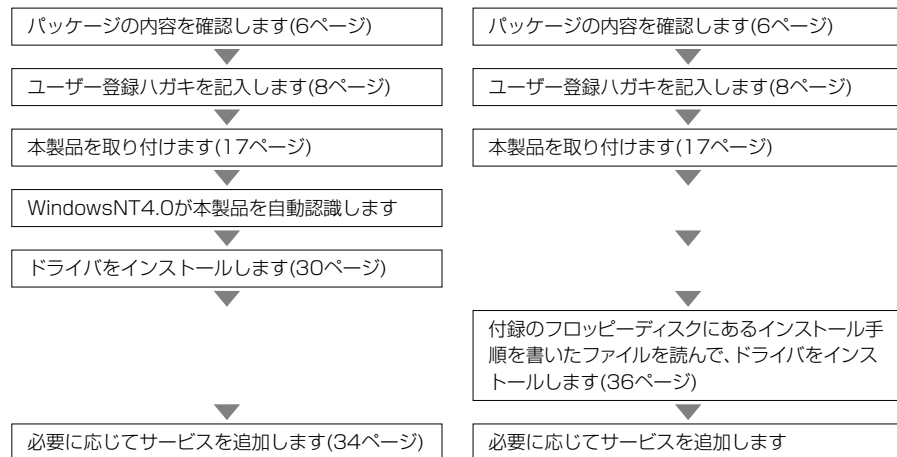
100M	接続環境が100Mbpsの場合に点灯します。
FULL	Full Duplex(全二重)で接続しているときに対応します。
LINK	HUBなどの外部との接続が正常な場合に点灯します。
ACT	データの送信時または受信時に点灯します。データは断続的に送受信されますので、見かけ上は点滅しているように見えることがあります。
COL	ネットワーク上でコリジョン(データの衝突)が発生しているときに点滅します。

本製品の簡単な導入手順を説明します。手順を参考に本製品を導入する環境に合わせて、このマニュアルの必要な部分をお読みください。

Windows95の場合



WindowsNT4.0の場合



- ※1 プラグ&プレイでも付属のディスク以外にWindows95のディスクを挿入する作業が必要なことがあります。
- ※2 このマニュアルの25ページからWindows95のピア・ツー・ピアによるネットワークの設定例を説明しています。参考にしてください。

ご使用のコンピュータがPC/AT互換機(DOS/Vマシン)やPC98-NXでWindows95のプラグ&プレイ機能を使ってセットアップする場合には、本製品の取り付け前に必要な作業があります。本製品の取り付けを始める前に次の作業を行ってください。

NEC PC-9800(9821)シリーズの場合は、この作業は必要ありません。17ページ「7.コンピュータ本体に取り付ける」へ進んでください。

Netpci.infファイルのリネーム(取り付けの前に)

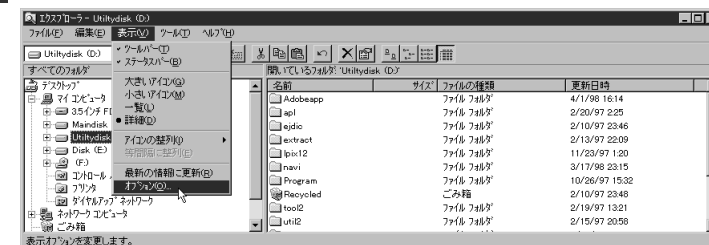
本製品の取り付けを始める前に、「Netpci.inf」ファイルをリネームする必要があります。このあとに説明に従ってリネーム作業を行ってください。この作業を行わないと別のドライバが自動的にインストールされます。別のドライバがインストールされると本製品は正常に動作しません。ここでは次の2つの方法を説明しています。

- ・ エクスプローラー上からのファイル名の変更
- ・ DOS画面上からのファイル名の変更(16ページ)

エクスプローラー上からファイル名を変更するとき

エクスプローラー上から簡単にファイル名を変更できます。なお、インターネットエクスプローラー4.0の場合、通常はこの説明とは異なる画面が表示されます。この場合はこのあとの16ページ「DOS画面上からの変更」を読まれるか、インターネットエクスプローラーのヘルプなどをお読みになりファイル名を変更してください。

1 エクスプローラを起動し、【表示】メニューの【ワザン】を選択します。



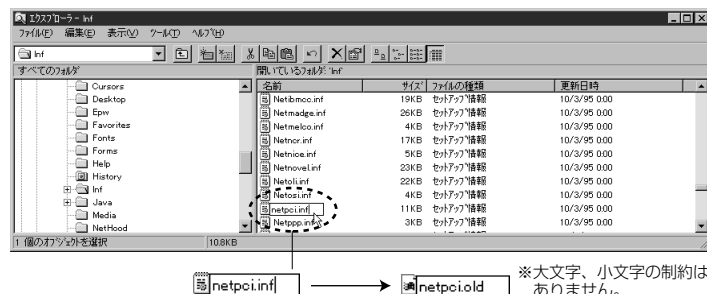
- ・ 〈ワザン〉画面が表示されます。

2 【表示】タブで「すべてのファイルを表示」を選択し、 をクリックします。

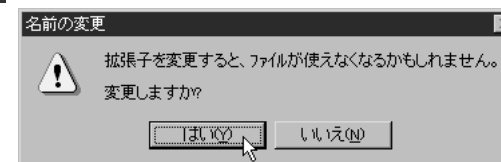
・すでに有効だった場合は変更の必要はありません

3 エクスプローラーでシステムのあるドライブにある"Windows"ディレクトリ下の"Inf"ディレクトリを開きます。

・一般的にシステムはCドライブに存在します。システムが存在するドライブには、"Windows"ディレクトリがあります。

4 "Netpci.inf"を"Netpci.old"にリネームします。

- ・"Netpci.inf"をクリックすると、ファイルが選択されます。もう一度クリックすると、ファイル名の変更が可能になります。"inf"を削除して と入力し、 を押します。
- ・変更を確認するメッセージが表示されます。

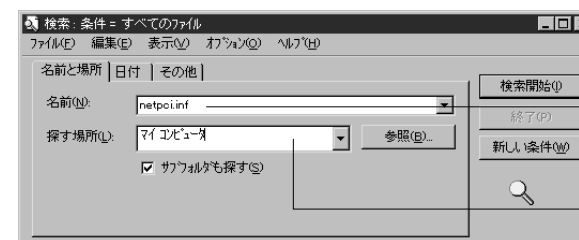
5 をクリックします。**6** 変更できたことが確認できれば、準備作業は終わりです。

⇒ 17ページ「7.コンピュータ本体に取り付ける」へ進んでください。

MEMO

"Netpci.inf"がどこにあるかわからないとき

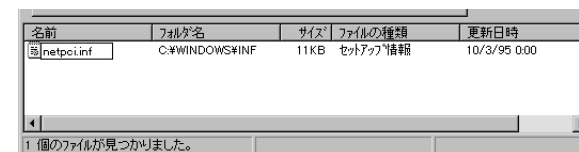
- ① エクスプローラーで、【ツール】→【検索】→【ファイルやフォルダ*】を選択します。
- ② 「ファイル名」と「探す場所」を入力します。



ファイル名は
"Netpci.inf"を入力

探す場所は
"マイコンピュータ"を入力

③【検索開始】をクリックします。

④検索結果が表示されます。**4**と同じ方法でファイル名をリネームします。⑤【名前の変更】のダイアログが表示されます。 をクリックします。

⑥【検索】画面を閉じます。

DOS画面上での変更

MS-DOSの画面上から変更する方法を説明します。

- 1 [スタート]→[プログラム]→[MS-DOS7.0ソフト]を選択します。
・〈MS-DOS7.0ソフト〉の画面が表示されます。

- 2 キーボードから、① ②の順で  の部分を入力します。

```
C:\WINDOWS>cd inf (Enter)
C:\WINDOWS\INF> ren netpci.inf netpci.old (Enter)
C:\WINDOWS\INF>
```

① infディレクトリに移動します

② ファイル名が変更されます

" "の部分には  を入力します。

MEMO

「ファイルが見つかりません。」と表示された場合は、入力した文字が間違っていないか確認してください。間違っていない場合、エクスプローラーで検索を行い、検索画面上で直接ファイルをリネームしてください。詳しくは前ページのMEMOをお読みください。

7

コンピュータ本体に取り付ける

本製品をコンピュータのPCIバスに取り付けます。コンピュータ本体の種類によって、カバーの開けかたやPCIバスへのカードの取り付けかたが異なります。お手持ちのコンピュータ本体のマニュアルにあるPCIバス用カードの取り付け方法の説明部分も参考にしてください。

注意

PC/AT互換機およびPC98-NXをWindows95で使用する場合
PC/AT互換機およびPC98-NXをWindows95で使用する場合、本製品を取り付ける前に必ずやらなければならない作業があります。このマニュアルの13ページ「PC/AT互換機 NEC PC98-NXをWindows95で使うとき」を必ずお読みください。



必ずコンピュータ本体のマニュアルも併せて読みながら、本製品をPCIバスに接続してください。



作業を始める前に、コンピュータ本体および周辺機器の電源プラグをACコンセントから抜いてください。本製品の取り付け時に、人体が内部回路に触れることがあります。電源プラグを差したままにしておくと、感電や回路がショートする原因になります。ご注意ください。

コンピュータ本体の電源がオフになり、電源プラグがACコンセントから抜けていることを確認します。

- 1 コンピュータ本体のカバーをはずします。

・カバーのはずしかたは、コンピュータ本体のマニュアルを参照してください。

- 2 本製品を取り付けるPCIバススロットを決めます。
決まればそのスロットのスロットカバーをはずします。

・スロットカバーは通常ネジ止めされています。

- 3 スロットカバーをはずしたPCIバスのスロットに本製品をしっかりと差し込みます。
・ゆっくりとバランスよく奥まで差し込んでいきます。

- 4 2で取りはずしたスロットカバーのネジで本製品を固定します。

5 ネットワークケーブルを本製品に接続します。

これで取り付けは完了です。

使用するOSによって、ドライバのインストール方法などが異なります。次の中から、該当するページへ進んでください。

- ・ Windows95の場合 ➡ 19ページ「Windows95でのセットアップ」
- ・ WindowsNT4.0の場合 ➡ 30ページ「WindowsNT4.0でのセットアップ」
- ・ その他のOSの場合 ➡ 36ページ「その他のOSへのドライバのインストール」

本製品はWindows95のプラグ&プレイに対応していますので、本製品を取り付けて、Windows95を起動すると、自動的にセットアップが開始されます。なお、Windows95のバージョンによって、ドライバをインストールする手順が異なります。ご使用の環境にあったインストール手順をお読みください。

前もって、コンピュータ本体のPCIバススロットに本製品を取り付けておいてください。

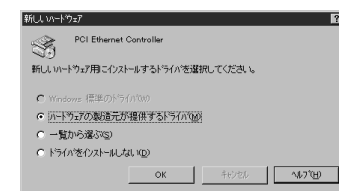
- ・ 手順は17ページを参照してください。

1 コンピュータ本体などの電源を入れて、Windows95を起動します。

2 しばらくすると新しいハードウェアが検出したことを知らせるメッセージが表示されます。

- ・ Windows95のバージョンによって画面AまたはBが表示されます。

■画面A



■画面B (Windows95 OSR2)

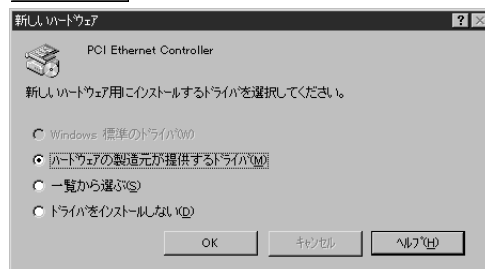


画面Aのとき ➡ 次ページの **A1** へ進んでください。

画面Bのとき ➡ 21ページの **B1** へ進んでください。

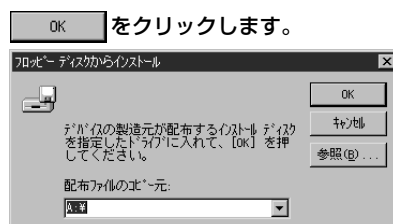
画面Aのときのインストール手順

- A1** 「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」が選択されていることを確認して、**OK** をクリックします。



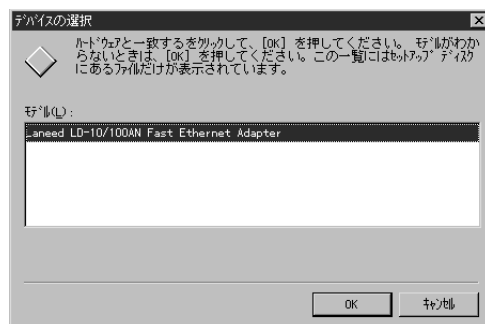
- ・〈コンピュータからのインストール〉画面が表示されます。

- A2** フロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを入れます。



- ・〈配布ファイルのソース〉が、表示されているドライブと異なる場合は変更してください。

- A3** [モデル]で"Laneed LD-10/100AN..."を選択し、**OK** をクリックします。

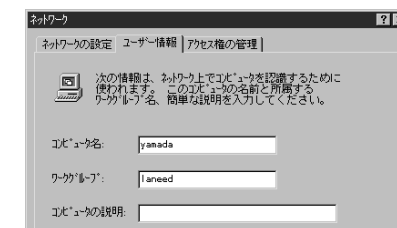


- ・ドライバのインストールが始まります。

このあとは、23ページ **3-1** へ進んでください。

MEMO

インストール中のコンピュータで初めてネットワークの設定をしたとき〈ネットワーク〉画面が表示されますので、[ユーザー情報]タブをクリックして、[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力してください。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

画面Bのときのインストール手順 (Windows95 OSR2の場合)

- B1** 本製品に付属のディスクをフロッピーディスクドライブに入れます。

- B2** **次へ>** をクリックします。



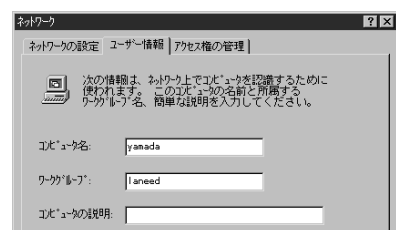
- ・しばらくWindows95側でドライバを自動的に検索します。
- ・ドライバが見つかります。

B 3 **完了** をクリックします。

- ・ ディスクの挿入を確認するメッセージが表示されます。

MEMO

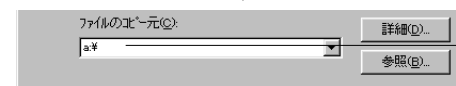
インストール中のコンピュータで初めてネットワークの設定をしたとき「ネットワーク」画面が表示されますので、【ユーザー情報】タブをクリックして、[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力してください。



コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。
ワークグループ	インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

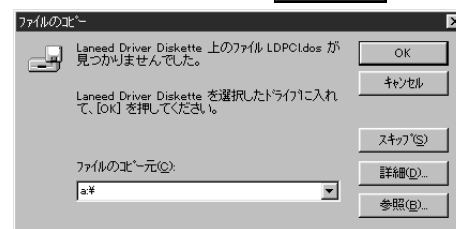
B 4 **OK** をクリックします。

- ・ <ファイルの選択> 画面が表示されます。

B 5 フロッピーディスクドライブのドライブ名に変更します。

フロッピーディスクドライブのドライブ名に変更します

- ・ システムが認識しているドライブが異なるためこのようなメッセージが表示されます。
- ・ 通常、フロッピーディスクドライブはAドライブ(PC/ATの場合)またはCドライブ(NEC PC-9800の場合)です。 **参照(R)...** をクリックするとドライブの一覧から選択できます。

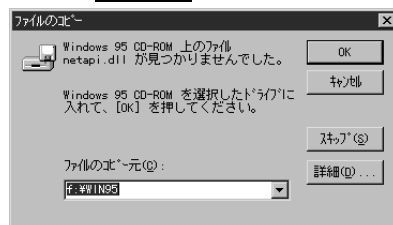
B 6 ドライブ名を変更したら、 **OK** をクリックします。

- ・ ドライバのインストールが始まります。次の **3-1** へ進みます。

3-1 お使いの環境によって、Windows95のディスク挿入を促すメッセージが表示されることがあります。

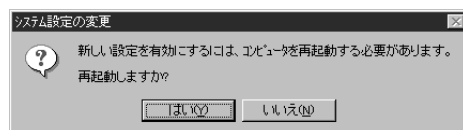
- ・ この場合は、Windows95 CD-ROMまたはフロッピーディスクをドライブに挿入し、 **OK** をクリックします。
- ・ <ファイルの選択> 画面が表示されます。

- 3-2** [ファイルのコピー]に表示されているドライブおよびディレクトリ名が、正しければ、そのまま **OK** をクリックします。



- ・ ディスクを挿入したドライブ名またはディレクトリ名と異なる場合は、直接ドライブ名とディレクトリ名を入力するか、**詳細(D)...** をクリックしてドライブ名等を変更してください。

- 4** ドライバのコピーが終了すると、再起動しますかというメッセージが表示されます。



- ・ **はい(Y)** をクリックします。

- 5** 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。



- ・ [ユーザー名]は必ず入力します。
- ・ 必要であれば[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これで、本製品の導入は完了です。このあと、お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワーク設定を追加および変更してください。

次のページからWindows95のピア・ツー・ピアでの設定例を説明しています。参考してください。

ピア・ツー・ピア環境の設定例

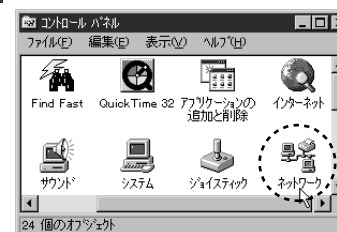
ここでは、Windows95のネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア環境の設定例を説明します。

- 1** Windows95を起動しておきます。
- 2** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルを開きます。



- ・ [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]の順に開いてもかまいません。
- ・ コントロールパネルが開きます。

- 3** [ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

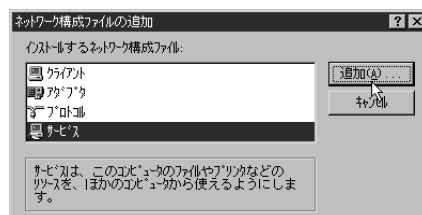


- ・ 〈ネットワーク〉画面が表示されます。

- 4** [ネットワークの設定] タブにある **追加(A)...** をクリックします。



- ・ 〈ネットワーク構成ファイルの追加〉画面が表示されます。

5 サービスを選択します。

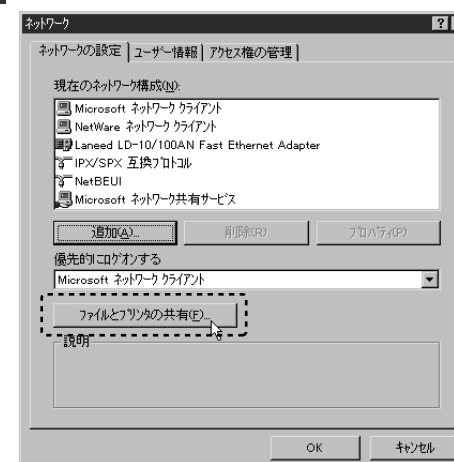
- ・「サービス」をクリックし、**追加(A)...**をクリックします。
- ・「ネットワークサービスの選択」画面が表示されます。

6 サービスの内容を選択します。

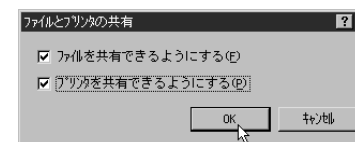
- ・「製造元」で「Microsoft」をクリックします。「ネットワークサービス」の内容が表示されます。
- ・「Microsoftネットワーク共有サービス」をクリックします。
- ・続いて **OK** をクリックします。

7 サービスが追加されました。確認してください。

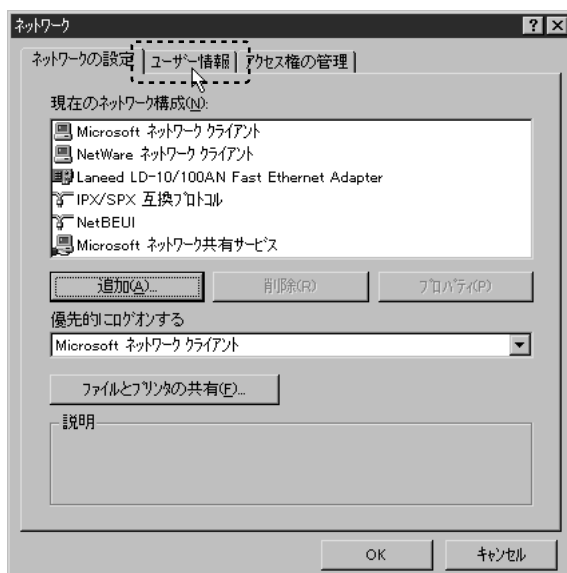
- ・「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーク共有サービス」が追加されています。

8 次に「ファイルとプリンタの共有」をクリックします。

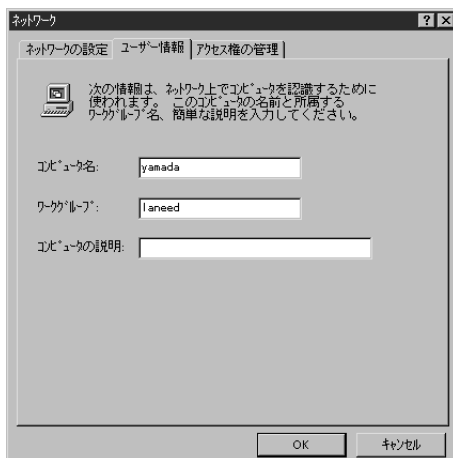
- ・「ファイルとプリンタの共有」画面が表示されます。

9 "ファイルを共有..." "プリンタを共有..."のチェックボックスを、両方ともチェック ☒ **します。**

- ・ **OK** をクリックします。

10 【ユーザー情報】タブをクリックします。

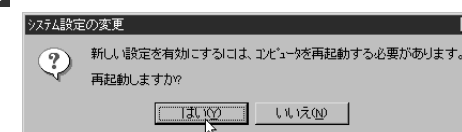
- ・〈ユーザー情報〉画面が表示されます。

11 【コンピュータ名】と【ワークグループ】を入力します。

- ・項目の意味については、21ページを参照してください。
- ・ をクリックします。

ディスク挿入を促すメッセージが表示されたときは、ディスクを挿入します。

- ・ "Windows95 CD-ROM"またはフロッピーディスクのいずれかのディスクを挿入します。
- ・ をクリックします。

12 再起動するかメッセージが表示されます。

- ・ をクリックします。

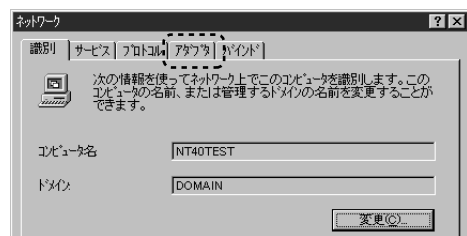
再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

WindowsNT4.0に本製品をセットアップします。本製品はPCIバス対応のイーサネットアダプタなので、ハードウェアに関する設定は必要ありませんが、ドライバのインストールは手動で行う必要があります。

まだ、本製品をコンピュータ本体に取り付けていない場合は、17ページ「7.コンピュータ本体に取り付ける」をお読みになり、取り付けを完了しておいてください。

- 1 コンピュータ本体などの電源を入れてWindowsNT4.0を起動します。
- 2 コントロールパネルを開き、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
・〈ネットワーク〉画面が開きます。

3 [アダプタ] タブを選択します。



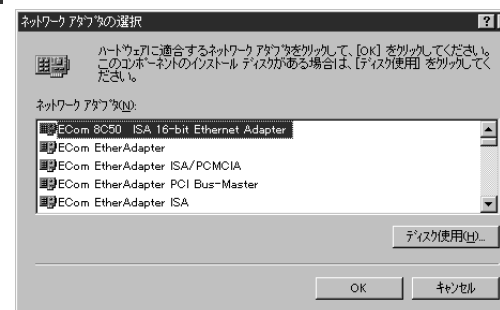
MEMO はじめてネットワーク環境を設定する場合は、ネットワーク環境の設定を行うかメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

4 [アダプタ] タブで、[追加(A)...] をクリックします。

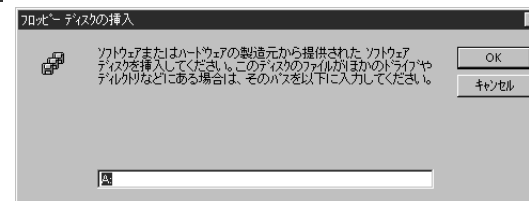


・〈ネットワークアダプタの選択〉画面が表示されます。

5 [ディスク使用(H)...] をクリックします。



6 〈フロッピーディスクの挿入〉画面が表示されます。



- ・本製品に付属のディスクをフロッピーディスクドライブに入れます。
- ・フロッピーディスクドライブがAドライブ以外の場合は、ドライブ名を変更してください。

7 セットできれば、[OK] をクリックします。

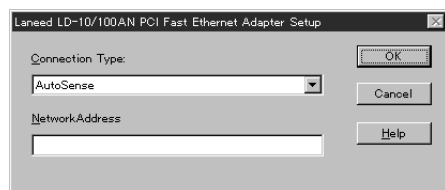
- ・〈OEMオプションの選択〉画面が表示されます。

- 8** [Laneed LD10/100AN PCI Fast Ethernet Adapter]と表示されますので、**OK** をクリックします。



・本製品のドライバの詳細設定画面が表示されます。

- 9** 必要に応じて項目を設定します。



●Connection Type

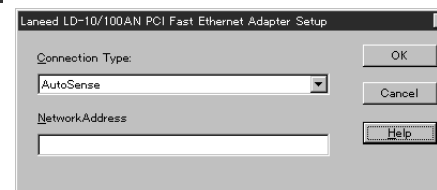
AutoSense	接続環境を自動的に判別します。
100Base-Tx	100BASE-TX(Half Duplex)環境。
100Base-Tx Full_Duplex	100BASE-TX(Full Duplex)環境。
10Base-T(Twisted Pair)	10BASE-T(Half Duplex)環境。
10Base-TxFull_Duplex	10BASE-T(Full Duplex)環境。

●NetworkAddress

本製品を2枚以上お使いの場合などに、本製品のMACアドレスを入力します。MACアドレスは本製品の基板上に貼られたシールに記載してある16進数の数字です。

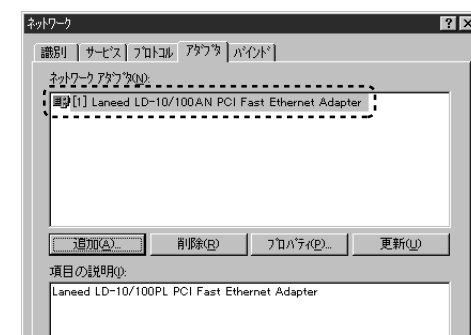
MACアドレスのシール 004005 40C557

- 10** 設定が終われば、**OK** をクリックします。



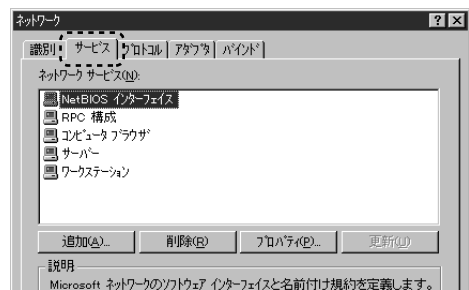
・フロッピーディスクからドライバのインストールが始まります。

- 11** 【アダプタ】タブの【ネットワークアダプタ】に本製品(LD-10/100AN)が追加されていることを確認します。

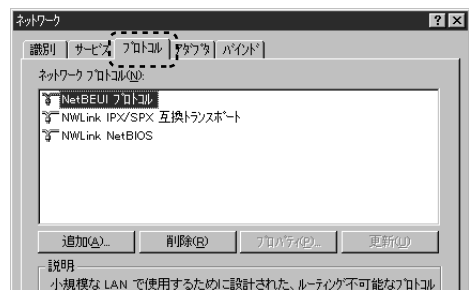


このあとは、必要なネットワーク環境の設定を行います。設定内容はお使いになるネットワーク構成によって異なります。このあとは、設定の流れを説明します。実際の構成に合わせて設定してください。

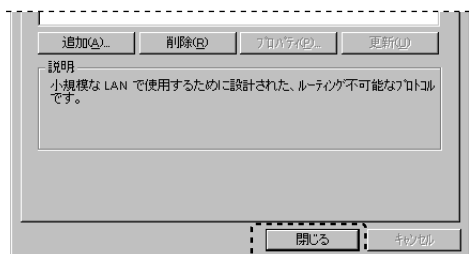
- 12** 【サービス】タブをクリックして、必要なサービスを追加します。



- 13** 【プロトコル】タブをクリックして、必要なサービスを追加します。

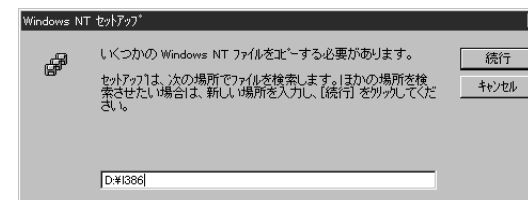


- 14** すべての設定が終われば、〈ネットワーク〉画面の **閉じる** をクリックします。

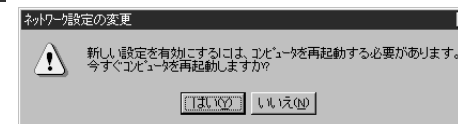


- ・ ファイルのコピーが始まります。

- 15** PC/AT互換機およびNEC PC98-NXの場合は、WindowsNT4.0の"i386"ディレクトリを指定し、**続行** をクリックします。
NEC PC-9800(PC-9821)の場合は"PC98"ディレクトリを指定します。



- 16** ファイルのコピーのあと、再起動のメッセージが表示されます。



- ・ **はい** をクリックします。
- ・ WindowsNT4.0が再起動し、設定した内容が有効になります。

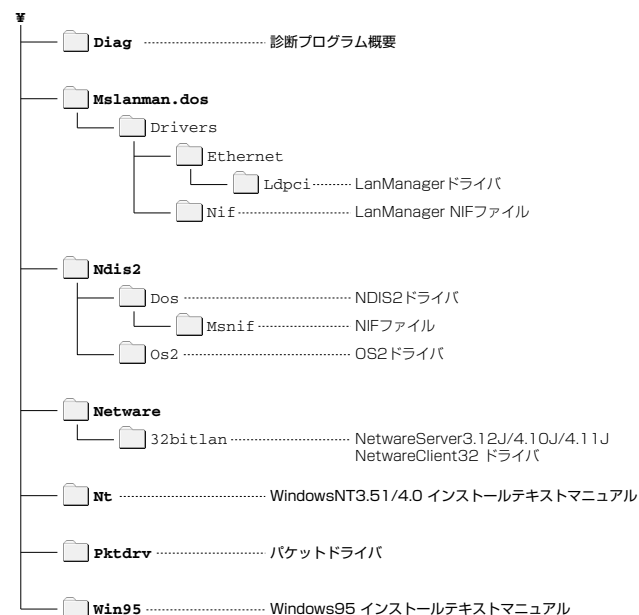
これで、WindowsNT4.0へのセットアップは終わりです。

本製品には、Windows95およびWindowsNT4.0以外にも各種ネットワークOSに対応するドライバが付属します。ドライバおよびインストール手順は本製品に付属のディスクに収められています。それぞれのOSのドキュメントをご覧ください、インストールを行ってください。

■付属ディスクの内容

(出荷時期により多少内容が異なることがあります)

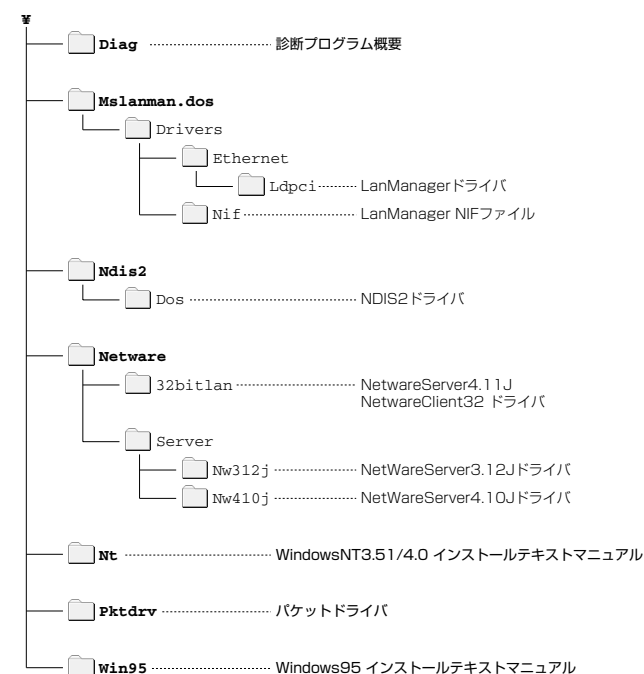
(PC/AT用)



●ルートディレクトリにあるファイル一覧

- Diag.exe 診断プログラム
- Ldpci.sys Windows95/NT3.51/NT4.0用ドライバ
- Lpxodi.com Ldpci.com Ldpci.dos
Lsi.com 診断プログラム関連ファイル
NetWare Client用ファイル、ドライバ
- Netinf.inf Net.cfg Oemsetnt.inf 各種情報ファイル
- Ldpci.hlp ヘルプファイル

(PC-9800用)



●ルートディレクトリにあるファイル一覧

- Diag.exe 診断プログラム本体
- Ldpci.sys Windows95/NT3.51/NT4.0用ドライバ
- Lpxodi.com Ldpci.com Ldpci.dos
Lsi.com 診断プログラム関連ファイル
NetWare Client用ファイル、ドライバ
- Netinf.inf Net.cfg Oemsetnt.inf 各種情報ファイル
- Ldpci.hlp ヘルプファイル

Windows95とWindowsNT4.0におけるアダプタのプロパティについて説明します。デフォルトは、一般的に最適な状態に設定されていますので、通常は変更しないでください。

Windows95の場合

- ①[コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
- ②<ネットワーク>画面の【ネットワークの設定】タブで"Lanecd LD-10/100AN PCI Fast Ethernet Adapter"と表示されたアダプタを選択し、[プロパティ]をクリックします。
- ③【詳細設定】タブをクリックすると、設定画面が表示されます。

■<詳細設定>画面



・ Connection Type(32bit)

AutoSense	接続環境を自動的に判別します。
100BaseTx	100BASE-Tx(Half Duplex)環境。
100BaseTx Full_Duplex	100BASE-TX(Full Duplex)環境。
10BaseT(Twisted_Pair)	10BASE-T(Half Duplex)環境。
10BaseT Full_Duplex	10BASE-T(Full Duplex)環境。

・ Full/Half Duplex (16bit)

通常は本製品のWindows95用32ビットドライバがインストールされていますので、必ず"なし"を選択します。

【ドライバの種類】タブで"リアルポート(16ビット)NDISドライバ"を選択している場合のみ、"AutoSense"などを選択してください。

AutoSense	接続環境を判断して自動的にHalfまたはFull Duplexに切り替わります。
Full_Duplex	Full_Duplex固定にします。
Half_Duplex	Half_Duplex固定にします。
なし	本製品のWindows95用ドライバなど32ビットドライバには、この項目を選択します。

・ Network Address (32bit)

本製品を2枚以上お使いの場合など、本製品のMACアドレスを入力します。1枚の場合は"なし"を選択します。MACアドレスは本製品の基板上に貼られたシールに記載されている16進法の数字です。数字の入力枠の横にあるボタンを有効にして、数字を入力します。

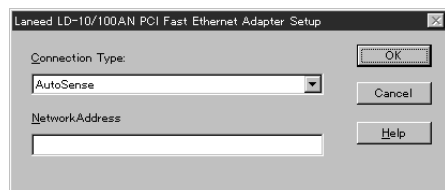
MACアドレスのシール

004005 40C557

WindowsNT4.0の場合

- ① [コントロールパネル] で、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
- ② <ネットワーク> 画面の【アダプタ】タブで "Lanecd LD-10/100AN PCI Fast Ethernet Adapter" と表示されたアダプタを選択し、[プロパティ] をクリックすると、設定画面が表示されます。

■ <詳細設定> の画面



・ Connection Type

AutoSense	接続環境を自動的に判別します。
100Base-Tx	100BASE-TX(Half Duplex)環境。
100Base-Tx Full_Duplex	100BASE-TX(Full Duplex)環境。
10Base-T(Twisted Pair)	10BASE-T(Half Duplex)環境。
10Base-TxFull_Duplex	10BASE-T(Full Duplex)環境。

・ NetworkAddress

本製品を2枚以上お使いの場合などに、本製品のMACアドレスを入力します。MACアドレスは本製品の基板上に貼られたシールに記載してある16進数の数字です。

MACアドレスのシール 004005 40C557

12

診断プログラムによるチェック

付属のディスクには、DOS画面上から本製品が正常に動作しているかを調べる診断プログラム機能があります。本製品が正常に動作しない場合などにチェックしてみてください。

注 意

Windows95上の[スタート]→[プログラム]→[MS-DOS7.0のプログラム]で表示されたDOS画面(DOS窓)から実行すると、正常に動作しません。この方法では使用しないでください。WindowsNTも同様です。WindowsNT環境の場合、直接にDOSを起動することができませんので、Windows95またはDOS/Vのシステムディスクを作成し、そのディスクから起動してください。

なお、PC/AT互換機(DOS/Vマシン)でご使用の場合、EMM386.EXEのバージョンが4.48以降でないと正常に動作しません。バージョンはシステム起動時に確認できます。

1 DOSプロンプトの画面を表示します。Windows95の場合は、次の方法でDOS画面を表示します。

- ・ システム起動時のDOS画面上で **[F8]** を押し、"DOSプロンプト"を選択する。
- ・ Windows95起動後、[スタート]→[Windows95の終了]で、"MS-DOSモードで起動する"を選択する。

2 フロッピーディスクドライブに付属のディスクを入れます。

- ・ お使いのコンピュータに合わせて、付属のPC/AT互換機用またはNEC PC-9800シリーズ用のディスクを入れます。

3 カレントドライブをフロッピーディスクドライブに変更します。

```
C:¥>a: ↵
A:¥>
```

- ・ 一般的にPC/AT互換機(DOS/Vマシン)はAドライブ、NEC PC-9800シリーズはCドライブがフロッピーディスクドライブです。
- ・ フロッピーディスクドライブが「Aドライブ」ならば、キーボードから **[A]** **[↵]** と入力し、**[Enter]** を押します。
- ・ ドライブ名がA以外のときは、そのドライブ名に置き換えて入力してください。

4 **[d]** **[i]** **[a]** **[g]** と入力し、**[Enter]** を押します。

```
A:¥>diag ↵
```

- ・ 診断プログラムが起動します。

5 起動画面で **[Enter]** を押します。

LD-10/100ANシリーズ'診断プログラム'によること。
この診断プログラムでカード'の診断と環境設定ができます。

LD-10/100ANシリーズ'を立ち上げる時、他のカードと衝突を防ぐ
ために、LD-10/100ANシリーズ'には、一意的な設定を行うよう注意
して下さい。

もし、LD-10/100ANと関係がある他のドライバ'をロード'している
場合は、Alt-Ctrl-Del キーを押して、再起動してください。
診断を開始できます。 [ENTER]キーで継続、[ESC]キーで終了

- ・アダプタ選択の画面が表示されます。

6 診断するアダプタを選んだら、**[Enter]** を押します。

アダプタメニュー選択						
CARD_NO	NODE_ID			BUS_NO	SLOT_NO	I/O IRQ
=====	=====			=====	=====	=====
1	00	40	05	50	3B	6A
				0	17	FC80H
						10

- ・本製品を2台以上接続しているときは、**[↑]** **[↓]** で診断したいアダプタを選択します。

7 画面左に現在の設定状態が、右に診断メニューが表示されます。

現在の設定		診断メニュー	
ノードID.....	00 40 05 50 3B 6A	アダプタ基本診断	
バスモード.....	PCI 32-bit	ネットワーク自己診断	
カードタイプ.....	LD-10/100AN		
コネクタタイプ.....	TP		
I/Oベースアドレス....	FC80H		
割り込み番号.....	10		

●現在の設定

ノードID	ノードIDを表示します。
バスモード	本製品が接続されているバスの種類を表示します。
カードタイプ	本製品の名称を表示します。
コネクタタイプ	本製品の接続環境を表示します。
I/Oベースアドレス	本製品が使用するI/Oポートアドレスを表示します。
割り込み番号	本製品が使用するIRQを表示します。

●診断メニュー

アダプタ基本診断	本製品の自己診断テストを行います。
ネットワーク自己診断	ネットワークの診断テストを行います。本製品が2枚必要です。

MEMO

[F6] を押すとアダプタ基本診断でのテスト回数などを設定できます。

テスト計算	
回数:	10000
耐久性:	OFF

- ・回数
耐久性を"OFF"にしているとき、テストを実行する回数を設定できます。数値の入力は30回なら"00030"というように先頭から0を含めて5桁の数値を入力してください。
- ・耐久性
"ON"に設定しているときは、[回数]に関係なくテスト中に **[Esc]** が押されるまでテストを繰り返します。"OFF"に設定すると、[回数]で設定された数値だけテストを繰り返します。

診断方法については、次の項目をお読みください。

- ⇒ 診断プログラムを終了するときは、**7** の画面の状態 **[Esc]** を押してください。
なお、途中の画面でも、**[Esc]** を押すことでひとつ前の画面に戻ります。

●アダプタの基本診断

診断メニューで[アダプタ基本診断]を選択すると、本製品の自己診断テストを行います。

- ①[アダプタ基本診断]を選択し、**[Enter]** を押します。

診断メニュー	
アダプタ基本診断	
ネットワーク自己診断	

- ・自己診断テストする項目が表示されます。

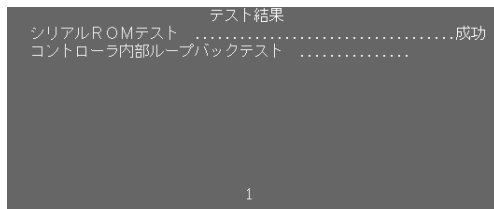
- ②いずれかの項目を選択して、**[Enter]** を押します。

テスト項目のセットアップメニュー	
[x]	シリアルROMテスト
[x]	コントローラ内部ループバックテスト
[]	ツイスト内部ループバックテスト

- ・[x]が選択された状態です。 **[スペース]** を押すと、選択／非選択が交互に切り替わります。

シリアルROMテスト	シリアルROMの伝送が正常に行われるかをテストします。
コントローラ内部 ループバックテスト	エンコード出力からデコード入力までの送受信をテスト します。
ツイスト内部 ループバックテスト	この項目は選択できません。

③テストが行われます。



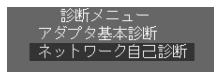
- ・「成功」はテストが正常に完了したことを示します。「失敗」はテストエラーを示します。
- ・繰り返し行われますので、終了するときは、**[Esc]**を押します。

テストで異常があった場合は、48ページ「付録2. こんなときは」をお読みください。

●ネットワークの診断

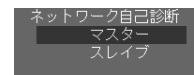
診断メニューで**[ネットワーク自己診断]**を選択すると、ネットワークの診断テストを行います。この診断テストを行うには、本製品を取り付けたコンピュータを2台用意し、10(100)BASE-Tケーブルで接続します。送信側と受信側を設定して同時にテストを実行してください。

①**[ネットワーク自己診断]**を選択し、**[Enter]**を押します。



- ・マスターとスレーブを選択する画面が表示されます。

②設定中のコンピュータをマスター(送信側)にするか、スレーブ(受信側)にするかを選択します。



- ・相手側のコンピュータは、設定中のコンピュータと逆の設定にします。

③設定が終われば**[Enter]**を押します。

- ・診断テストが始まります。
- ・**[Esc]**を押すと、診断テストを終了します。

■ネットワークの診断テストの画面イメージ

スレーブ 状態			
ノード ID	00 80 C8 68 08 EF		
I/O ベースアドレス	D000	テスト開始	13:02:58
割り込み番号	10	流通タイム	13:02:59
送信のパケット長			
送信のパケット カウンタ			1437
送信のタイムアウト カウンタ			15
受信のパケット長			0
受信のパケット カウンタ			1437
受信のエラー カウンタ			15
応答がないカウンタ			0
一致しないデータ カウンタ			0

①	送信のパケット長	送信したパケットの長さ
②	送信のパケットカウンタ	送信したパケットの数("10000"で終わり)
③	送信のタイムアウトカウンタ	タイムアウトしたパケット数
④	受信のパケット長	受信したパケットの長さ
⑤	受信のパケットカウンタ	受信したパケットの長さ
⑥	受信のタイムアウトカウンタ	受信できなかったパケットの数
⑦	応答がないカウンタ	送/受信できなかったパケットの数
⑧	一致しないデータカウンタ	データの長さが送信側と受信側で合わなかった数

※備考 ①はひとつずつ増えます。②は⑤+⑦の数値です。

テストで異常があった場合は、48ページ「付録2. こんなときは」をお読みください。

Windows95でDECドライバがインストールされたとき

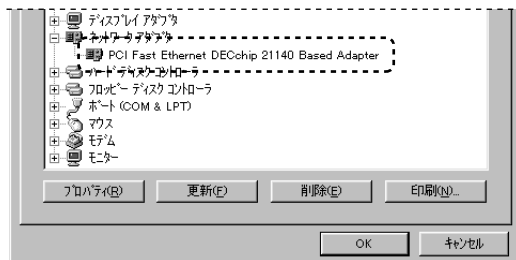
"Netpci.inf"ファイルをリネームせずに本製品を取り付けるとDECドライバがインストールされ、本製品が正常に動作しなくなります。間違えてDECドライバをインストールしたときは、本製品のドライバに更新することで正常に動作できるようになります。このあとの説明に従って、ドライバを更新してください。

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[システム]アイコンをダブルクリックします。

②<システムのプロパティ>画面で【デバイスマネージャ】タブを選択します。

③[ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。

④間違えてインストールされた"DECchip 21140 Based Adapter"が表示されますので、ダブルクリックします。プロパティが表示されます。

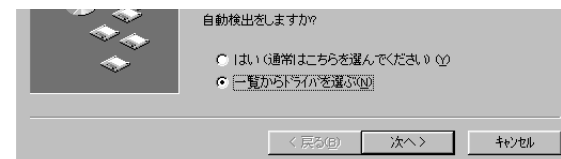


⑤【ドライバ】タブを選択します。

⑥【ドライバの更新(U)...】をクリックします。<デバイスドライバのインストール>画面が表示されます。



⑦【一覧からドライバを選ぶ】を選択し、【次へ>】をクリックします。<デバイスの選択>画面が表示されます。



⑧【ディスク使用(H)...】をクリックします。<フロッピーディスクからインストール>画面が表示されます。

⑨本製品に付属のディスクをフロッピーディスクドライブに入れます。【配布ファイルの北へ元】をフロッピーディスクドライブにして、【OK】をクリックします。<デバイスの選択>画面が表示されます。

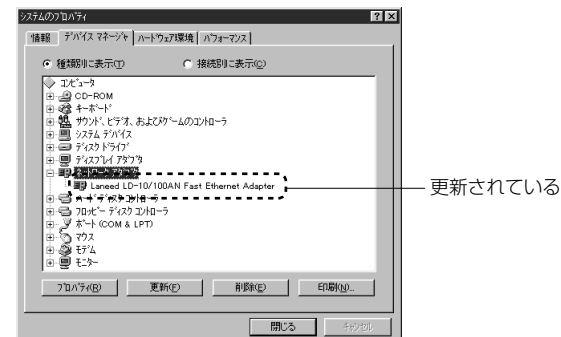
※一般的にPC/AT互換機ではAドライブがフロッピーディスクドライブです。

⑩"Lanecd LD-10/100AN Fast Ethernet Adapter"と表示されていれば、【OK】をクリックします。ドライバのインストールがはじまります。

※場合によっては、Windows95のCD-ROMを要求するメッセージが表示されることがあります。その場合は、メッセージに合わせてディスクを入れてください。

⑪インストールが終わると、プロパティに戻ります。

⑫【デバイスマネージャ】タブでアダプタ名が"Lanecd LD-10/100AN Fast Ethernet Adapter"に変わっていることを確認してください。



●再起動すると本製品が正常に動作ようになります。

※このあと必要なサービス等を設定してください。

共通のトラブル

- 本製品をコンピュータに取り付けたところ、コンピュータ本体が全く起動しなくなった。
現在のご使用中のコンピュータで使用しているIRQ、I/Oポートアドレスと本製品のIRQが競合しているか、ご使用中のコンピュータに本製品を取り付けるために必要なIRQの空きがないものと考えられます。コンピュータ本体のマニュアルなどを参考にして、IRQ、I/Oポートアドレスの空きを確保してください。
- LINKランプが点灯しない。
① HUBなどにケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
HUBに接続している場合、ストレートケーブルで接続していますか？
コンピュータ本体どうしを直結している場合、クロスケーブルで接続していますか？
② ケーブルの接続などに問題がない場合は本製品の設定を確認してください。
Windows95のコントロールパネルのデバイスマネージャや、WindowsNTのイベントビューア等で本製品の動作にエラーが発生していないかを確認してください。

- 本製品を取り付け"diag.exe"を実行したが、「ボード(本製品)が見つからない」というエラーが出る。
本製品をセットアップしたコンピュータに、同じIRQを使用するデバイスが存在している可能性があります。現在、コンピュータに接続しているデバイスのIRQの値を確認してください。競合するデバイスがある場合は、そのデバイスを取りはずすか、コンピュータ本体メーカーに御相談ください。

Windows95/NT環境でのトラブル

- PC/AT互換機(およびNEC PC98-NX)で、プラグ&プレイで自動的にドライバがインストールされたが、正常に動作しない。
本製品がDEC製チップを採用しているため、Windows95の"Netpci.inf"をほかのファイル名に変更しないと、Windows95の標準のDECドライバが自動的にインストールされてしまいます。このDECドライバでは、本製品は正常に動作しません。[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で[システム]を開き、〈システムのプロパティ〉画面で【デバイスマネージャ】タブをクリックします。【ネットワークアダプタ】をダブルクリックして、「PCI Fast Ethernet DECchip 21140 Based Adapter」と表示された場合は、このマニュアルの46ページを読んでドライバを更新してください。
- Windows95上でインストールされたはずだが、本製品が見当たらない。動作していない。
- NEC PC-9800(PC-9821)の場合、本製品に付属のフロッピーディスクを使ってドライバをインストールしましたか。付属のディスクを使用しなかった場合、システム上では「その他のデバイス」として扱われている可能性があります。次ページの「ドライバの再インストール方法」を読んでください。

- PC/AT互換機(およびNEC PC98-NX)の場合、「Netpci.inf」をリネームしたあとで、本製品に付属のフロッピーディスクを使ってドライバをインストールしましたか。リネームしただけで、付属のディスクを使用しなかった場合、システム上では、「その他のデバイス」として扱われている可能性があります。下記の「ドライバの再インストール方法」を読んでください。

再インストールの方法

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で[システム]を開き、〈システムのプロパティ〉画面で【デバイスマネージャ】タブをクリックします。【その他のデバイス?】をダブルクリックすると「PCI Ethernet Controller?」と表示されます。このデバイスを[削除]し、12ページの手順フローを参考に、ドライバの再インストールを行ってください。

- Windows95でプラグ&プレイでセットアップしたが、本製品を正常に認識できない。
お使いのコンピュータでIRQが競合しているか、IRQの空きがないことが原因と考えられます。IRQに空きがないと、本製品をプラグ&プレイの状態でご使用いただくことはできません。コンピュータ本体のマニュアルなどを読んで、IRQの使用状況を確認してください。

・ Windows95上での使用可能なIRQの確認方法

[コントロールパネル]→[システム]→【デバイスマネージャ】からコンピュータのプロパティを見て、割り込み要求 (IRQ) のボタンをチェックして一覧から確認します。

・ WindowsNT上での使用可能なIRQの確認方法

メニューバーの[スタート]→[プログラム]→[管理ツール]→[WindowsNT診断プログラム]を起動し、リソースのタグを選択します。一覧に表示されているIRQは他のデバイスに使用されています。本製品に割り当ててことはできません。

- 本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークコンピュータを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

- ① 正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。再度ボードの設定を確認しOS側が本ボードを正常に認識しているかどうか調べてください。

・ Windows95上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法

[コントロールパネル]→[システム]→【デバイスマネージャ】から【ネットワークアダプタ】をダブルクリックし、本製品のドライバが正常に動作しているかを確認してください。また、【デバイスマネージャ】で【その他のデバイス】の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。

・ WindowsNT上で本ボードが正常に動作しているかを確認する方法

メニューバーの[スタート]→[プログラム]→[管理ツール]→[WindowsNT診断プログラム]を起動し、【リソース】タブを選択します。一覧に表示されているデバイスのなかに「LDAN」があれば本製品は正常に動作しています。異常があれば、本製品の設定を確認し一度ドライバを削除の上、ドライバを再度組み込んでください。

- ② ケーブル、HUB、ターミナータなどを確認してください。
(現在、正常に動作しているケーブルがあれば変更してみてください。HUBの接続ポート変更してください。)

- ③ 可能であれば、本製品を取り付けているPCIバススロットを変更してください。

- 本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークを参照できない。もしくは、使用しているコンピュータしか表示されない。

- ① ネットワーク接続に必要なプロトコルなどの設定が、使用するネットワーク環境に合った設定になっているかを確認してください。

- ② [スタート]→[検索]の[ほかのコンピュータ]を起動し、ターゲットのコンピュータのコンピュータ名を入力し検索してみてください。

- Windows95で「DHCPサーバーが見つかりません」と表示される。

このメッセージはエラー表示ではありません。使用しているネットワーク環境で「DHCPサーバ」が存在しない場合に表示されます。DHCPサーバとは、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPを使用する場合、各コンピュータに必要なIPアドレスを自動的に割り当てるサーバです(通常はWindowsNT サーバやルータが設定により行なっている場合があります)。Windows95環境のネットワークでTCP/IPを使用した場合の初期設定は「DHCPサーバ」を使用して、IPアドレスを割り当てるのが初期設定になっています。使用しているネットワーク環境にDHCPサーバが存在しない場合や見つからない場合に、上記メッセージが表示されます。実際にDHCPサーバを設定していない場合は、このメッセージが表示されたとき、今後このメッセージを表示しないように、[NO]をクリックしてください。また、TCP/IPの設定を行なう場合は特別な知識を必要とすることもあります。IPアドレスの設定がわからないときはシステム管理者に相談するか、TCP/IPのプロトコルを使用しないでネットワークを構築してください。ただし、TCP/IPを使用しない場合は、他のプロトコル(NetBEUIなど)を追加してください。

- Windows95やWindowsNTで本ボードの設定を行った場合、フロッピーディスクまたはCD-ROMを要求されてしまう。

ネットワークの設定に必要なファイルは、弊社提供のドライバの他にWindows95またはWindowsNT側で提供されるファイルも含まれています。このような場合は、表示されるメッセージに従って、Windows95またはWindowsNTのフロッピーかCD-ROMをドライブにセットし、そのドライブのパスを指定してください。

例① Windows95のフロッピーディスクを使用する場合
(Windows95が要求している番号のフロッピーをセットして)
A:¥

例② Windows95のCD-ROMを使用する場合
<CD-ROMのドライブ名>:¥WIN95

例③ WindowsNT[PC/ATおよびNEC PC-NX]の場合
<CD-ROMのドライブ名>:¥I386

- 例④ WindowsNT[NEC PC-9800(PC-9821)]の場合
<CD-ROMのドライブ名>:¥PC98

※Windows95プリインストール(最初からインストールしてある)の機種に関してはパスの指定をc:¥Windows¥Options¥Cabs と変更してください。インストールできない場合は、コンピュータ本体メーカーにおたずねください。

- Windows95でネットワークに接続したが、ファイルやプリンタの共有ができない。

ネットワークは接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。

- ① [ネットワークコンピュータ]→[プロパティ]→[ネットワーク構成の一覧]に「Microsoft ネットワーク共有サービス」が組み込まれているかを確認してください。

組み込まれていない場合は[ファイルとプリンタの共有]のボックスをクリックして、今現在外れているチェックボックスにチェックをつけてOKを押してください。⇒ 25ページ参照

- ② 共有したいフォルダやプリンタに共有設定を行っているかを確認してください。共有の方法は次のようにしてください。

・共有したいフォルダやプリンタで右クリックをしてメニューを表示します。
・共有という項目を選択し、「共有しない」になっている設定を「共有する」に変更して[OK]をクリックしてください。

- 診断プログラム"diag.exe"を実行したが正常に動作しない、またはハングアップしてしまう。
診断プログラム"diag.exe"は必ず、MS-DOSまたはWindows95をMS-DOSモードで起動します。Windows95の[スタート]にある[DOSプロット]上では実行しないでください。弊社診断プログラムは上記環境でしか動作いたしませんのでご注意ください。⇒ 41ページ参照

- WindowsNTで本製品を使用しているが、本製品の設定をマニュアル通りにしたが、正常に使用できない。

以下の原因が考えられます。

- ① 48ページ「Windows95/NT環境でのトラブル」の最初の2項目を参照してください。

- ② ネットワーク接続に必要なプロトコル等の設定が間違っている。

・ネットワークに接続するためには本製品の設定以外にもプロトコルやサービス等の各種設定が必要となります。接続するネットワーク環境を確認してください。ネットワーク環境が不明な場合はネットワークの管理者に相談してください。

Netware 環境でのトラブル

- ドライバの組み込みにエラーメッセージを表示し、正常に起動しない。
 - ① NetWareの各バージョンはネットワーク関係のものだけでなく、多くのパッチモジュールがあります。バージョンにもよりますが、最新のパッチモジュールを入手しないと正常に動作しないものもあります。確認の上、必要であれば最新のモジュール等をNevell(株)より入手して動作確認をしてください。
また、本製品をMS-DOSでNetwareサーバに接続する場合、Clientの設定に必要なファイル(LSL.COMとIPXODI.COM)は、本製品ドライバディスクに添付されています(¥nwclientの中にあります)。このファイルは、お客様の任意のもとに、使用することも可能です。
使用方法は、最初にNetwareClientのインストールを行い、そのあとでClientをインストールしたディレクトリ(通常はC:¥nwclient)に上記のファイルを上書きコピーしてください。
 - ② 他のボードの「I/Oアドレス、IRQ、メモリアドレスが衝突していないか」もしくは「正しい値を設定しているか」調べてください。上記設定が衝突したり、正しい値を設定していないと正常に動作しません。

- サーバーにアタッチはできたが、ログインができない。
 - ① 「GUEST」でログインしてみてください。
 - ② ネットワーク管理者にご相談し、ユーザーアカウントを確認してください。

- NetWare4.xサーバに接続できないコンピュータがある。
Windows95は、標準ではNetWare4.1のNDSに対応していません。サーバでバイダリーエミュレーションを設定するか、Client側にNovell社が提供する「NetWare Client32 for windows95」をインストールしてください。

- ネットワーク上の複数のファイルサーバが、お互いに認識できない。
ネットワークアドレスやインターネットアドレスが衝突している可能性があります。全てのファイルサーバは同じネットワーク番号を使用する必要がありますが、内部ネットワーク番号とステーションアドレスは固有でなければなりません。設定を確認してください。

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。また、FAX情報によるサービス、ネット上によるオンラインサービスも提供しています。なお、サポートセンターでサービスを受けるために、あらかじめ本製品に添付されているユーザ登録はがきをご投函くださいますようお願いいたします。修理品の送り先については、7ページをご覧ください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3981-4147 FAX : 03-3981-2102

受付時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間行っております。

●インターネット

<http://www.elecom.co.jp>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000	大阪：06-455-6000
名古屋：052-453-6000	福岡：092-482-6000
札幌：011-210-6000	仙台：022-268-6000
広島：082-223-6000	

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの付録「こんなときは」をお読みになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ:

使用しているOS:

使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番):

ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成:

ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等) :

●具体的な現象

具体的な現象:

事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

基本仕様

商品名	PCIバス対応10/100Mbpsイーサネットアダプタ
製品型番	LD-10/100AN
メディアタイプ	10BASE-T, 100BASE-TX
伝送速度	10Mbps/100Mbps, 20Mbps/200Mbps(フルデュプレックス時)
ケーブル規格	IEEE802.3標準
対応バス	PCIバス
割り込みレベル	自動設定
I/Oポートアドレス	自動設定
LED	100M(緑:接続環境) FULL(緑:フル/ハーフデュプレックス) LINK(緑:リンクの確立) ACT(緑:データの送受信) COL(緑:コリジョン発生の有無)
適合規格	FCC Part15 Class B,CEマーキング,VCCI第二種情報処理装置基準
消費電力	最大2W
動作温度	動作時:0～55℃ 保管時:-20～80℃
動作湿度	10～90%(結露なきこと)
対応機種	IBM PCおよびPC/AT互換機(DOS/Vマシン)、NEC PC98-NX、 NEC PC-9800(9821)シリーズで、下記の条件を満たす機種(自作機は除く) ・PCIバスの空きスロットがあること ・IRQの空きがあること
対応OS	Windows95, WindowsNT3.51 / 4.0 NetWare3.12J / 4.10J / 4.11J, Ms-Lanmanager
付属品	ドライバディスク(2枚)、ユーザズマニュアル、ユーザ登録カード、保証書

各営業拠点のご案内

本 社	〒541-8765 大阪市中央区瓦町3-5-7大阪長銀ビル7F
大阪支店	〒541-8765 大阪市中央区瓦町3-5-7大阪長銀ビル10F TEL.06-229-2957(代) FAX.06-229-2729
東 京 コンシューマ支店	〒170-8765 東京都豊島区東池袋3-13-2住友不動産東池袋ビル5F TEL.03-5950-4531(代) FAX.03-5950-1409
東 京 システム支店	〒170-8765 東京都豊島区東池袋3-13-2住友不動産東池袋ビル5F TEL.03-5950-4131(代) FAX.03-5950-4133
札幌支店	〒060-0007 札幌市中央区北七条西13-9-1塚本ビル3F TEL.011-281-2450(代) FAX.011-281-2451
仙台支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-5-15日本生命仙台勾当台南ビル3F TEL.022-215-4411(代) FAX.022-215-4412
横浜支店	〒220-0004 横浜市西区北幸2-9-10横浜HSビル2F TEL.045-323-5971(代) FAX.045-323-5973
名古屋支店	〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19名古屋長銀ビル9F TEL.052-223-2531(代) FAX.052-223-2535
広島支店	〒730-0016 広島市中区幟町13-11明治生命広島幟町ビル7F TEL.082-228-5920(代) FAX.082-228-7620
福岡支店	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5-35福岡祇園第一生命ビル12F TEL.092-262-5858(代) FAX.092-262-2053
盛岡営業所	〒020-0022 盛岡市大通3-3-10七十七日生盛岡ビル7F TEL.019-653-0228(代) FAX.019-653-0227
高崎営業所	〒370-0828 高崎市宮元町38-10住友生命高崎ビル6F TEL.027-328-8861(代) FAX.027-328-8862
金沢営業所	〒920-0022 金沢市北安江1-3-24ピア金沢5F TEL.076-233-7046(代) FAX.076-233-7048
松山営業所	〒790-0001 愛媛県松山市一番町1-15-2住友生命松山一番町ビル6F TEL.089-921-5706(代) FAX.089-921-5537
熊本営業所	〒860-0806 熊本市花畑町1-1三井生命熊本ビル3F TEL.096-351-4711(代) FAX.096-351-4798

PCIバス10/100Mbps イーサネットアダプタ

LD-10/100AN

ユーザズマニュアル

発行 エレコム株式会社

1998年5月1日 第1版

LD-10/100AN

Laneed
ELECOM